

子育て関連分科会「みんなでチャレンジ Let's スポーツ！」

平成27年12月13日(日)、桜井小学校体育館において、支えあいネットワーク子育て関連分科会主催で「みんなでチャレンジ Let's スポーツ！」が行われました。

会場では、子どもから大人まで22名の参加者がさまざまなスポーツを楽しみました。

参加者は、子育て分科会のメンバーと栄区さわやかスポーツ普及委員会のみなさんが準備したフリスビーによるストラックアウト、ラダーゲッター、輪投げ、ペタンクの各種目で得点を競い合いました。子どもたちは的をねらって得点を重ねることに大喜び、夢中になって遊びました。大人たちも童心にかえてスポーツを楽しみました。

最後は、子育て分科会手作りのダンボール製のキャタピラを使ったキャタピラレース、抜きつ抜かれつのレースに体育館じゅうに歓声がこだましました。

楽しんだあとは表彰式。分科会で準備した金、銀、銅のメダルを、藤村桜井小学校校長から授与された子どもたちをはじめとする参加者は大喜びでした。

分科会の片岡代表は「みなさんに楽しんでいただけてとても良かったです。今回で3回目になりますが、シニアのみなさんの参加で三世代交流もできました。これからもこのような誰もが参加・交流できる催しを続けて行きたいと思います。」と話していました。



視覚障害者についての講座に参加

2月9日(火)、中野地域ケアプラザにおいて「視覚障害者の生活と声掛けのしかた」と題する講座が開催され、支えあいネットワークからも参加しました。

当日は、栄区視覚障害者福祉協会会長の三嶋伸昭氏を講師に迎え、障害者の権利条約の分かりやすい説明や、視覚障害者が実際に生活する上で工夫している点、街なかで視覚障害者が困った様子の時どのように声掛けしたらよいのかなど、当事者の視点で話をいただきました。講座後半には、白杖を持った人の誘導のしかたを体験し、視覚障害の方への配慮あるサポートのむずかしさを学びました。



編集委員：水越春彦 本間和男 片山栄一 杉本須美子 佐藤喜久子 服部泰子 軽野幸男
協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ
連絡先：中野地域ケアプラザ (地域交流部門 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

本三みらい

発行者 村田可代子
◇本郷第三地区
社会福祉協議会
◇本郷第三地区
支えあいネットワーク

支えあいネットワーク全体会が開かれました

3月5日(土)午後1時半から、中野地域ケアプラザにおいて、関係者約100名が参加して、「27年度支えあいネットワーク全体会」が開かれました。

村田支えあいネットワーク代表、保坂連合町内会会長、長瀬地区民生委員児童委員協議会会長、前田栄区福祉保健センター担当部長、飯島栄区社会福祉協議会事務局長の挨拶の後、第1部として5つの分科会が今年度の活動を報告しました。



① 訪問活動分科会 (発表：渡辺すみ江副代表)

- ・ 地区での活動の参考にするため金沢区の「さくら茶屋にししば」を視察
- ・ 「さくら茶屋にししば」は横浜市のまち普請に応募し、平成10年5月に商店街の空き店舗にオープン
- ・ みんなで支えあう街づくりの拠点として、気軽に集える場所、交流できる場、食事や喫茶を楽しめる場になっている。

② 災害時分科会 (発表：加藤裕之代表)

- ・ 27年度の取組テーマを「避難支援のための防災マップの作成」とした。
- ・ 防災マップづくりのため、講師を招いて2回の研修を開催
- ・ 研修で学んだことをもとに、地域を歩き、防災マップを作成した。
- ・ 緊急通報システム及び住宅用火災警報器についても意見交換を行った。

③ 広報分科会 (発表：水越春彦代表)

- ・ 「本三みらい」を年4回発行(18号~21号、20号は全戸配付)
- ・ 地域活動への参加を促すことを目的に、3月に「ふれあいマップ」を発行

④ ボランティア分科会 (発表：関由利子代表)

- ・ 11月にボランティア団体交流会及び研修会を開催
- ・ 交流会では、所属各団体の活動報告と情報交換を行った。
- ・ 研修会では、認知症予防の筋力トレーニングを体験

⑤ 子育て関連分科会 (発表：片岡喜久江代表)

- ・ 地域の行事などを掲載した「こどもカレンダー」を年4回発行し各小学校に配付
- ・ 12月に「みんなでチャレンジ Let's スポーツ！」イベントを開催
- ・ 連合の防災訓練に参加、ブースを設置して非常食おやつづくりや100円防災グッズの展示を行った。



第2部では村田代表より、第3期栄区地域福祉保健計画(本郷第三地区 地区別計画)について説明がありました。この計画は、平成22年度から27年度までの第2期計画から引き継がれる課題や、平成26年11月に開催された地区別懇談会で出された意見を参考にしながら、平成28年度から32年度までの5年間で取り組んでいくべき課題をまとめたもので、「顔の見えるまちづくり」の実現に向けた具体的な取組施策を示したものです。(中面に「第3期本郷第三地区 地区別計画」を掲載しました。)

各町内会、自治会でいろいろな行事が催されました

●ラーバン港南台自治会「ふるさとまつりと友愛楽市」

10月18日(日)、上郷深田公園で「ふるさとまつりと友愛楽市」を開催しました。

今回は、ラーバン港南台自治会とラーバン悠々クラブ(シニアクラブ)がコラボして実施しました。

自治会主催行事は「ラーバンふるさとまつり」で、手作りの各種ゲーム(ボーリング・紙飛行機飛ばし・釣堀り・)で子どもにかえて遊びました。最後は恒例の大ビンゴ大会で締めくくりました。

悠々クラブ主催行事は「友愛楽市」で、高齢者が増え自宅で活用できずにいるものが多いとの声から、悠々クラブがお手伝いしてリサイクルできるようにする試みで、大がかりなバザーを実施しました。

当日は、好天に恵まれ近隣住民等の参加もあり、活気にあふれ大いに盛り上がりました。



●港南台プリンスハイツ自治会「ハイキング」

11月7日(土)、恒例の自治会主催ハイキングを開催しました。天候に恵まれ、早朝の蛇名公園に大人33名、子ども2名の合計35名が集まりました。

今回も昨年と同じく、横浜栄高校からいっしんどう広場を経由し、横浜自然観察の森の自然観察センターまでのコースを歩きましたが、少し汗ばむぐらいの陽気でした。足場の悪い所もほとんどなく、少し早めに目的地に到着しました。

プリンスハイツは近くに市民の森が数多くあり、ハイキングにもってこいの場所がたくさんあります。これからもこのようなイベントを続けていきたいと思えます。



●元大橋町内会「災害時を想定した安否確認訓練」

11月21日(土)、ふれあいスピーカーにて安否訓練実施の放送が町内に流れ、スタートしました。今年の訓練は、町内会員全世帯が無事を知らせる緑の布を掲出し、防災部員は要援護者の安否確認を行うとともに、各戸を見回り、布の有無、掲出のない方への確認を行ないました。災害時の無事を示す緑の布の掲出は722世帯(83%)で昨年の73%から10ポイント増えました。

このような安否確認訓練を実施することにより、会員の防災への自助・共助の意識が高まることと思えます。今後も元大橋町内会では会員全員で防災に取り組んでいきます。



●中野町内会「餅つき祭り」

12月13日(日)、小雨の中本郷台公園にて餅つき祭りを開催し、約50名の参加者がありました。

事前に餅つき担当、かまど担当、安全衛生担当などを決めて当日に備えました。3キロの餅米は30分程で蒸しあがり、10分程でつきあがりしました。

つきあがると、子どもたちも交え、次々とあんころ餅、きな粉餅、珍しい納豆餅まで作りました。

かまど、臼、羽釜、せいろなどは2組を用意し、合計30キロの餅米をつきました。

女性陣による豚汁も加わり、おいしく楽しい餅つき祭りになりました。



●鍛冶ヶ谷町内会「防災研修会」

2月16日(火)、鍛冶ヶ谷町内会主催の防災研修会を行いました。快晴の天候に恵まれ、午前9時、35名を乗せた観光バスが出発、東京消防庁本所都民防災教育センターに向かいました。

10時から防災シアター・地震体験・風水害体験・消火体験の各コーナーを約1時間30分にわたり体験しました。さすが東京消防庁! 高度な機械設備に感動しました。

昼食は、浅草の十和田で美味しいお蕎麦をいただきました。昼食の後、浅草寺周辺を散策し、お土産を購入しました。

最後は江戸東京博物館の見学と一日楽しい研修会でした。



第3期 本郷第三地区 地区別計画のテーマ

～「顔の見えるまちづくり」の実現に向けて～

日頃からの交流を通して、お互いを見守り、支え合える地域にしよう

- ・子どもと高齢者との交流の機会を増やそう
- ・高齢者が気軽に集えて、健康づくりにつながる場所を充実させよう
- ・子育て世代が安心して暮らせる地域(まち)にしよう
- ・子どもの帰宅時間を共有できるような地域(まち)にしよう
- ・地域の行事や防災訓練に、もっと子供を参加させよう

いざというときに備えて、お互いの特性を理解し、顔の見える関係を深めよう

- ・災害時要援護者と地域との顔の見える関係づくりを進めよう
- ・認知症の方も安心して暮らせる地域(まち)にしよう
- ・障害がある方への理解を広げよう

地域活動の理解者を増やし、活動参加のきっかけをつくろう

- ・みんなが何かボランティアに参加するような地域(まち)にしたい
- ・情報を行き渡らせたい

●中野町内会「防災学習」

2月11日(祝)、厚木の神奈川県総合防災センターで30名の参加者が防災について学習しました。

地震体験・風水害体験・消火体験・煙避難体験のコーナーを初めて体験して、改めて災害の恐ろしさを実感しました。

その後、アサヒビール神奈川工場を見学して有意義な一日を過ごしました。

